

## ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 桜川市立大國小学校

担当教諭名 館野 明子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

### 記

実施日時	平成 23 年 12月 14日 ( 水 ) 13:55 ~ 15:30
対象学年と人数	第6学年(43名)
派遣講師名と出身国	マスクート・キャスマイヤー・セイエド・エブラヒムさん【イラン】 イ・ヨンヒさん【韓国】 ジェフリー・バークさん【アメリカ】
活動の内容	・ふるさとの「お国自慢」 ・パネルディスカッション「日本のよいところ」「外国と日本のちがいを」 ・各国の小学生の生活の様子を教えよう ・日本との関わりについて教えよう
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	事業に参加しての意見・感想 6学年の2学期には、総合的な学習の時間に「異なる文化をもつ人々との交流体験を通して、外国の文化や習慣を理解し、関心を高める」ことをねらいとする国際理解教育を行っている。また3学期の社会科では、関心のある1カ国を選んで、その国の生活の様子や日本との関わりについて調べる学習を行う予定である。このワールドキャラバンの企画は、このような学習を行う上で有効に活用できる事業である。希望した国の方々を派遣していただき、有り難かった。事前の申し込みや打ち合わせ・費用の手続きや調整等が初めてだったので大変であった。
生徒・保護者等参加者の感想	児童の感想 ・国によって、食べ物や人気のスポーツ・産業などに違いがあり、どの国の人も文化や歴史を大切にしていることが分かった。 ・外国から見た日本のイメージは、良いことが多かったのでうれしかった。 ・いろいろな国へ旅行や留学に行ってみようと思った。
先生の感想	総合的な学習の時間と社会科を関連付けて実施できて、有意義であった。時期も適正であった。講師の方々は、お話が上手で、児童は興味をもって説明を聞くことができた。地図や国旗、写真などの資料を用意してくれたので、内容をよく理解することができた。また、楽器やお金、ゲーム、マンガなど実際に触ることができたので、児童は楽しく学習できた。国の様子を調べる場合、本やインターネットの情報に頼りがちだが、このような交流体験の場が児童には大切だと思った。

